

平成23年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		財団法人 武蔵野市福祉公社						
①	指標名	医療ケアを担えるヘルパーの育成			目標値	25人	実績値	16人
	過去の実績	平成20年度	平成21年度	平成22年度	達成率	64.00%	達成状況	未実施・ <u>未達成</u> ・達成
	(単位:)	0	15	51				
	取組内容	<p>※23年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>今後、医療ニーズの高い在宅高齢者が増えることが予想される。安定した在宅生活を支えるため、ホームヘルプセンターだけでなく、市内事業所ヘルパーに関しても、技術のみだけでなく目的、必要性も踏まえた知識を持ち、医療ケアが実践できるスキルを習得できるよう研修をおこなった。(自己導尿の準備・体位保持、市販洗腸を用いた洗腸)</p>						
一次評価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>平成22年度に引き続き、ヘルパーが出来る医療行為のより専門的な知識と技術を要する項目について、研修をおこなった。業務上の経験例があまりなく、実習も含めた講義で、今後の利用者の実際の対応に結びつけることができた。</p>							
二次評価	<p>より専門的な知識と技術の習得の必要性は理解する。利用者の多様なニーズに対応できるよう今後も必要な研修をすること。</p>							
②	指標名	経常収支比率の改善			目標値	95.0%	実績値	93.1%
	過去の実績	平成20年度	平成21年度	平成22年度	達成率	98.00%	達成状況	未実施・ <u>未達成</u> ・達成
	(単位:)	90.1%	90.4%	90.4%				
	取組内容	<p>※23年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>人員の見直しを行い、在宅サービス課訪問介護係を1名減とした。また、成年後見事業を拡大し、後見報酬等の収入増を図った他、事業経費の縮減を行った。</p>						
一次評価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>上記の取り組みの結果、経常収支比率が改善したが、目標値には達しなかったため、24年度では、23年度で改善案がまとまらなかった権利擁護事業と有償在宅福祉サービスの見直しについて検討していく。</p>							
二次評価	<p>目標達成に向け、具体的な数値で検討をしたうえで実際の事業・予算執行を図られたい。</p>							
③	指標名	職員研修のさらなる充実(専門研修・視察研修除く)			目標値	300人	実績値	257人
	過去の実績	平成20年度	平成21年度	平成22年度	達成率	85.67%	達成状況	未実施・ <u>未達成</u> ・達成
	(単位:)	211人	276人	210人				
	取組内容	<p>※23年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>福祉公社の職員として、また武蔵野市の在宅福祉サービスに携わる者の牽引役としての自覚を高めるため、全職員(準職員を含む)を対象とした次の研修を実施した。・コンプライアンス研修「情報セキュリティー」、認知症研修「認知症及び境界型の精神障害について」、スキルアップ研修「感情労働に関するメンタルマネジメント」</p> <p>また、本年度は、(社福)武蔵野、(社福)武蔵野市民社協との連携の第一歩として、福祉三団体合同研修「武蔵野市の地域福祉の歴史」を実施した。</p>						
一次評価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>福祉公社職員としての自覚と目的の共有のために、全職員にとって必要な研修について、職員による研修委員会で内容を検討し、コンプライアンス研修等の研修を実施するとともに、他団体との情報交換・連携を目指し、福祉三団体合同研修を実施するなど、職員の資質の向上を図った。今後も、職員の使命感、倫理観、知識等を高める研修を行い、職員の資質の向上を目指す。</p>							
二次評価	<p>福祉3団体の合同研修など職員の刺激となる研修の実施を評価する。市において行っている財政援助出資団体の在り方検討の議論も踏まえながら、組織の目的達成のため、今後も引き続き市の出資団体の職員としてふさわしい人材の育成に努めること。</p>							